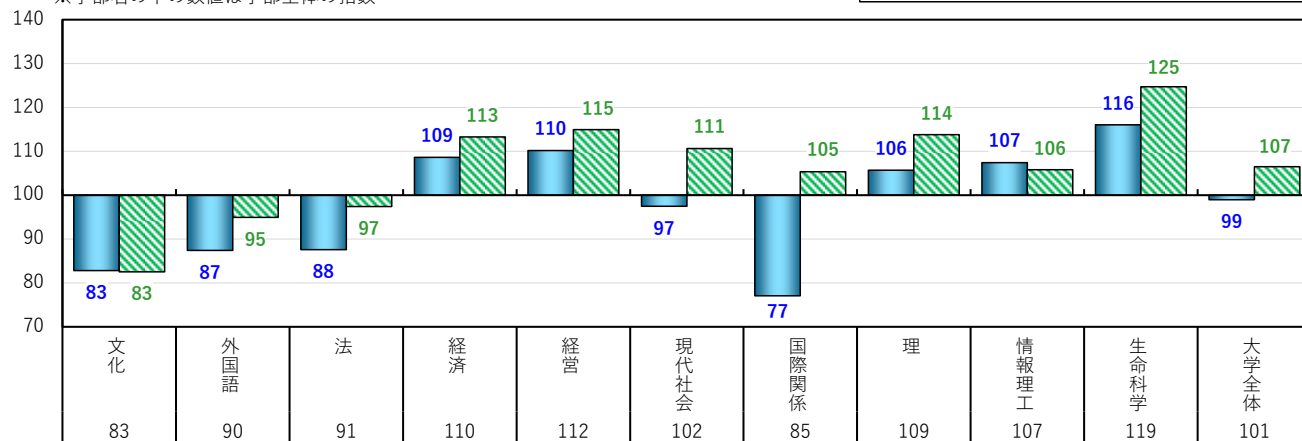


京都産業大：大学全体では3年ぶり増加、10学部中6学部が増加 一般：-260人 共テ：+800人

※前年度の志願者数を100とする指数

※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

選抜方法：共通テスト利用方式…英語の配点比率変更

リーディング：リスニング＝1：1→リーディング：リスニング＝4：1

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、540人(101)の微増で3年ぶり増加。方式別では、一般方式は260人(99)の微減だが3年連続減少、共通テスト利用方式は800人(107)のやや増加で、3年ぶりの増加。学部別では、生命科学(119)は大幅増加、経営(112)、経済(110)、理(109)は増加、情報理工(107)はやや増加、現代社会(102)は前年度並。一方で、文化(83)、国際関係(85)は大幅減少、外国語(90)、法(91)はいずれも減少。

<一般方式>

- 文化(83)は、前年度増加の反動で大幅減少。学科別では、2学科とも大幅減少で、(国際文化)(83)は前年度の反動による増減が継続、(京都文化)(83)は2年連続増加の反動。
- 外国語(87)は、コロナ禍による系統への低い人気に影響し、減少で3年連続減少。学科別では、3学科いずれも3年連続減少で、(アジア言語)(75)は大幅減少、(ヨーロッパ言語)(93)、(英語)(96)はやや減少。
- 法(88)は、減少。学科別では、(法政策)(85)は大幅減少で3年連続減少、(法律)(89)は減少で志願者数は2,500人を下回った。
- 経済(109)は、3年連続減少の反動で増加。方式別では、<後期>(131)は大幅増加、<前期>(110)は3年連続減少の反動で増加、<中期>(97)はやや減少で3年連続減少。
- 経営(110)は、増加で3年ぶりの増加。方式別では、<前期>(113)は2年連続大幅減少の反動で増加、<後期>(108)も増加で4年ぶりの増加、<中期>(99)は微減だが3年連続減少。
- 現代社会(97)は、やや減少。学科別では、(健康スポーツ社会)(108)は3年連続減少の反動で増加、(現代社会)(91)は減少で前年度の反動による増減が継続。
- 国際関係(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、<後期>(67)、<前期>(76)はいずれも大幅減少、<中期>(87)は減少。
- 理(106)は、2年連続やや増加。学科別では、(宇宙物理・気象)(110)、(数理科学)(110)はいずれも増加。一方で、(物理科学)(90)は減少で3年連続減少。
- 情報理工(107)は、2年連続減少の反動は小さくやや増加。方式別では、<前期>(116)は2年連続減少の反動で大幅増加、<中期>(88)は減少、<後期>(68)は大幅減少。
- 生命科学(116)は、大幅増加で2019年度の改組以降初めての増加。学科別では、(先端生命科学)(128)は大幅増加で2019年度の改組以降初めての増加、(産業生命科学)(90)は前年度大幅増加の反動で減少。

<共通テスト利用方式>

- 文化(83)は、大幅減少。志願者数は6年ぶりに1,000人を下回った。学科別では、(国際文化)(79)は大幅減少、(京都文化)(87)は減少。
- 外国語(95)は、コロナ禍による系統への低い人気に影響し、やや減少で3年連続減少。志願者数は1,000人を下回った。学科別では、(英語)(110)は2年連続大幅減少の反動で増加。一方で、(ヨーロッパ言語)(88)、(アジア言語)(89)は減少でいずれも3年連続減少。
- 法(97)は、やや減少で4年連続減少。学科別では、(法政策)(96)はやや減少で3年連続減少、(法律)(98)は微減だが4年連続減少。
- 経済(113)は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、<後期>(138)は5年ぶりの大幅増加、<前期>(116)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、<前期プラス>(112)は増加、<中期プラス>(103)は2年連続やや増加。
- 経営(115)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。方式別では、<後期>(137)は4年ぶりの大幅増加、<前期>(116)、<前期プラス>(115)はいずれも2年連続大幅減少の反動で大幅増加、<中期プラス>(108)は増加。
- 現代社会(111)は、増加。学科別では、(健康スポーツ社会)(117)は大幅増加、(現代社会)(107)はやや増加で、いずれも2年連続増加。
- 国際関係(105)は、やや増加で2019年度の新設以降初めての増加。方式別では、<前期>(122)は大幅増加、一方で、<後期>(81)は大幅減少。
- 理(114)は、2年連続減少の反動で増加。学科別では、3学科いずれも増加。(数理科学)(132)は大幅増加、(物理科学)(110)

2023 年度入試状況分析【私立大】

は増加でいずれも 2 年連続大幅減少の反動。(宇宙物理・気象)(107)は 2 年連続やや増加で、志願者数は 3 年ぶりに 500 人を上回った。

- 情報理工(106)**は、2 年連続減少の反動は小さくやや増加。方式別では、<前期プラス>(113)は 2 年連続減少の反動で増加、<前期>(107)はやや増加、<中期プラス>(90)は減少、<後期>(58)は 40%以上の大幅減少。
- 生命科学(125)**は、大幅増加で 2019 年度の改組以降初めての増加。学科別では、(先端生命科学)(137)は大幅増加で 2019 年度の改組以降初めての増加。(産業生命科学)(100)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。